



2019年5月18日～2019年5月24日

2019年5月27日

### 先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。下院憲法司法委員会で税制改革法案が承認されたことや、ゲデス経済相をはじめとする政府要人が相次いで年金改革実現へ言及したことなどが好感され、ブラジル・レアル、国債ともに買われました。

承認された税制改革法案は政府案ではなく下院議会の独自案であり、ゲデス経済相が主導する政府案との関連性は不明ですが、政府と議会で合意が形成されたことから年金改革法案についても進展期待が高まりました。

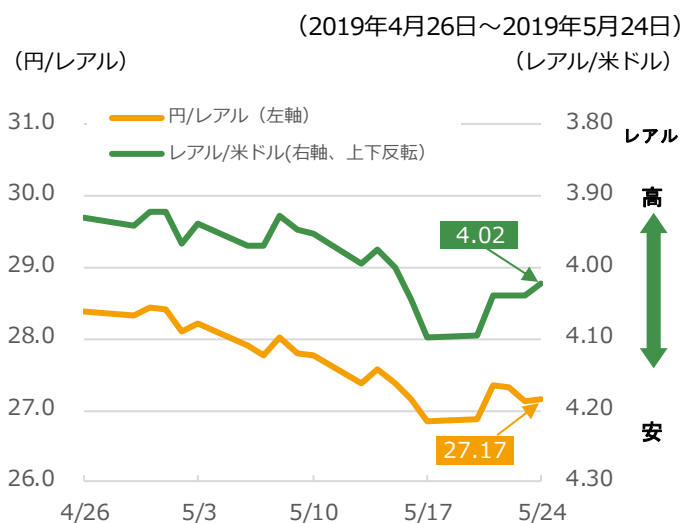
経済指標に関しては、5月のインフレ率（IPCA-15）が発表されました。こちらは食料品価格の上昇が落ち着いたことなどから市場予想を下回りました。

### 今週の見通し

今週は、2019年第1四半期のGDP（国内総生産）などが発表される予定です。こちらは小幅なプラス成長が予想されていますが、GDPの先行指標である経済活動指数が足元で弱含んでいることから、予想通りのプラス成長となるかに注目したいと思います。

年金改革については、引き続き承認プロセスをめぐるニュースに左右される展開が続くと考えられます。大手コンサル会社が法案が承認される確率を引き上げるなど楽観的な見通しも強まっており、年金改革の実現に期待しつつ動向を見守りたいと思います。

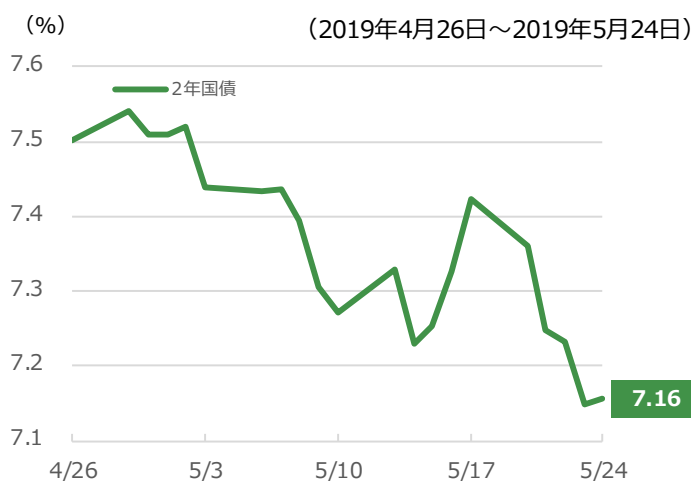
### ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。